

# 丘の上に建つ 七つの屋根の クラブハウス

1. 多様なライフステージの人たちを含めた、幅広い世代が健康のために集まるクラブハウスのような地域拠点をご提案します。
2. 平常時やイベント時で柔軟に変化する施設のオペレーションに慣れることで、災害時にも滞りなく使いこなせる計画とします。
3. 美しい丘の地形と一体となった七つの屋根が重なる建築で、地域住民の心の拠り所となるランドマークをつくります。



(様式 5-1)

①交流・防災施設の平時と有事の機能を考慮した平面計画  
【地域内外に開かれた交流施設】

## 自然の中で体を動かす豊かさ

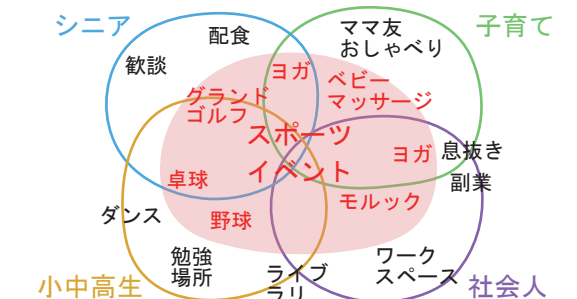
御船町の市街地には複数の運動・文化施設が整備されています。そのため、今回の施設は中山間地域に計画するという特徴を生かして、周囲の豊かな自然を感じながら楽しむ居場所を提案します。グラウンドだけでなく、室内でも自然を背景に体を動かし、歓談を楽しむ場所は、地域内外の方にも魅力的で訪れたくなる施設となります。



【誰でも気軽に利用できる施設】

## 多様なライフステージの人の居場所

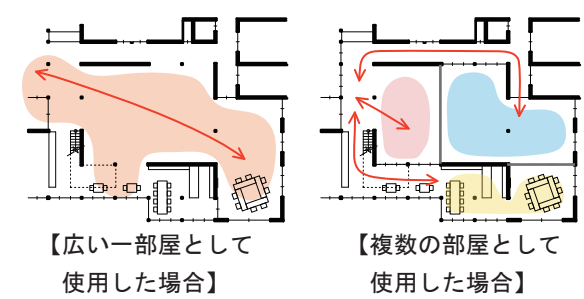
体育館やグラウンドでのスポーツの他に、多目的室で卓球や体操、ヨガなどシニアや子育て世帯も楽しめることで、幅広い世代が利用したくなる場所を提案します。そして、キッチンもあるため、ママ友や友人たちで持ち寄りのお弁当を食べることもできます。また、渡り廊下に囲まれた広場でのマルシェやお祭りでは、一体感のある空間を形成します。



【「いつも」と「もしも」に対応できる施設】

## 伸縮する平面計画

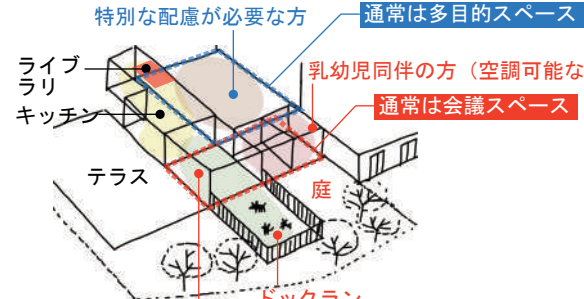
平面計画は中央の多目的スペースとそれを囲む廊下と各諸室という構成をしています。そのため、多目的スペースの引戸を開放すると会議スペースやカフェスペースと繋がり、利用者の発想に合わせて形を変えることができます。また、廊下を含めた四辺が開くため、自由度の高い空間と動線をつくることのできるため、災害時にも対応しやすいフェーズフリーな空間です。



【防災力向上に寄与する地域の避難場所】

## 特別な配慮をしつらえる防災拠点

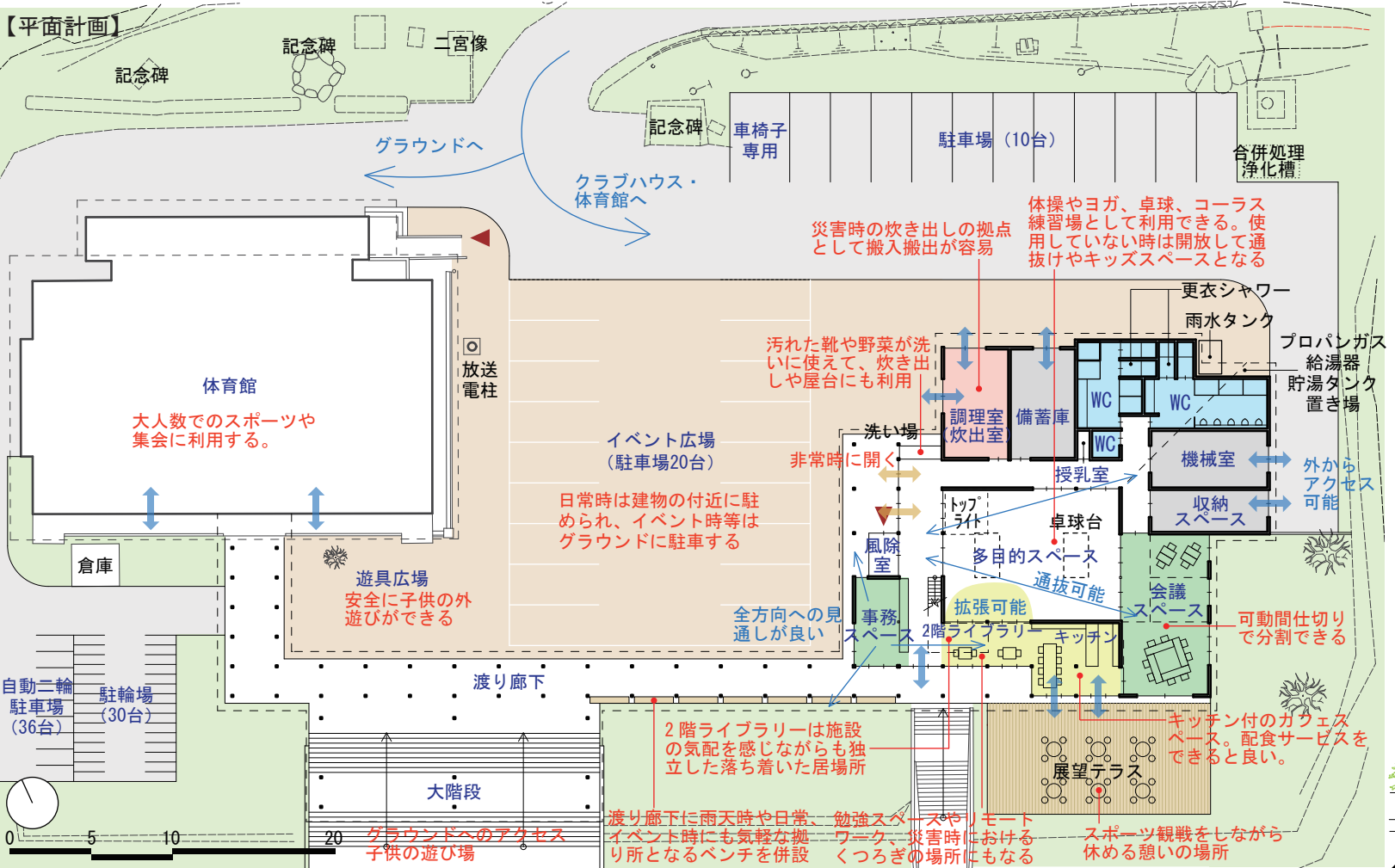
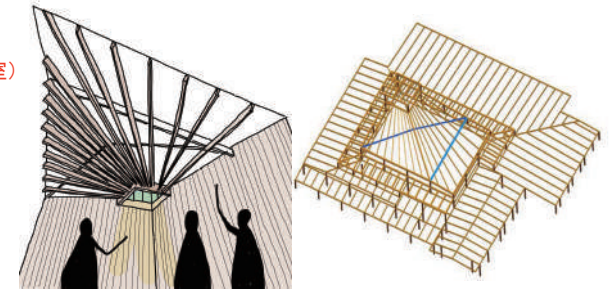
柔軟な動線を確保できるため、避難時のプライバシーを確保しやすい計画となっています。特別な配慮が必要な方や乳幼児世帯、ペット同伴の方などの場所や、車中泊が必要な設備を整えます。トイレに近くキッチンに隣接する会議室を稼働間仕切りで区切り、非常用発電機により空調可能な室を用意します。2階に落ち着ける小さなライブラリがあります。



県産木材の活用に配慮した計画

## 県産材を用いた架構デザイン

この施設の木材には、全て県産木材を使用します。架構にはスギやヒノキを用い、仕上げに間伐材を用いることで、温かみと親しみのある施設をつくります。多目的スペースでは、木の力強い架構のデザインで訪れた人たちの記憶に残る空間をつくります。地元の素材と技術によって作られていることが感じられる施設を提案します。



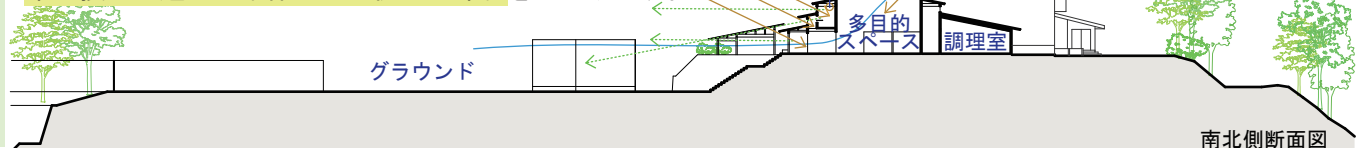
【構造計画】

高耐力の耐力壁で固めた多目的ホールを中心に、周りの所室は適材適所に筋交や鋼製ブレースをバランスよく配置した計画とします。多目的ホールの屋根架構は、240×60の扇垂木がアーチ効果のある溝型鋼の座屈補剛となって支えます。トップライトは、内部に鋼製ブレースを対角線状に入れることで、下部に柱を設けない計画としています。また、一部に鋼材を使用することで、300mm以下の小経木材を用い、県産材を有効に活用できる構造とします。



【断面計画】

地形の起伏と一体となったヴォリュームで、多目的スペースを中心に裾野を広げる構成となっています。重なる屋根の間から自然光が差し込み、多目的スペースの煙突効果で換気・通風が確保される快適な環境をつくります。



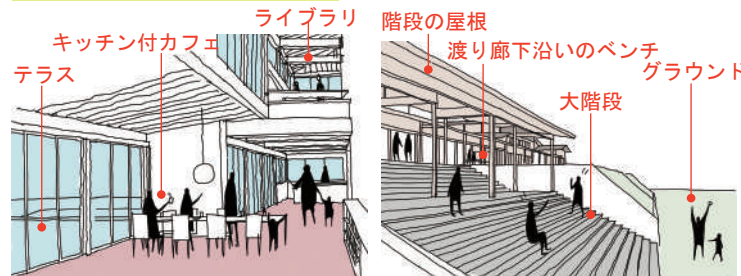
南北側断面図

既存施設との総合的なつながりを考慮した外構配置計画

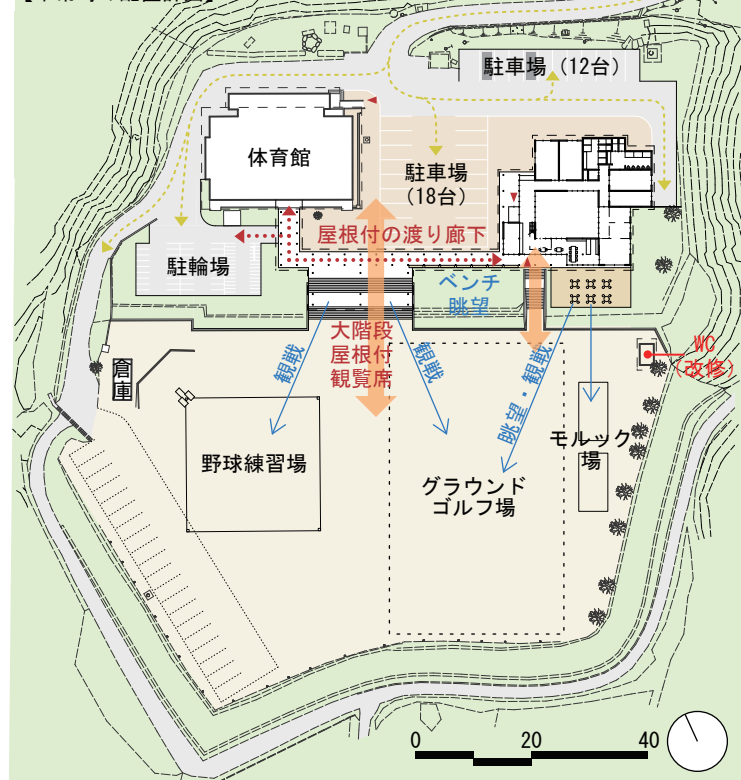
## シーン別の平面利用計画

### ①平常時

屋外・屋内スポーツをする側とみる側の両者が共に楽しめる場を計画しています。渡り廊下と庇付きの大階段をつくり、グラウンドとの繋がりに連続性をもたせ、敷地全体が一体感のある計画としています。また、グラウンドを眺めながら休憩や学生の勉強場所に使える、ライブラリやキッチン付きカフェコーナーなどの居場所があります。



【平常時の配置計画】



今後の人口推移に配慮した施設

【継続的に運営していくため、フレキシブルな活用に対応できる施設】

### 将来的な使い方の想定ストーリー

人口推移や時代のニーズに合わせて、多目的スペースと繋げて周りを改修すれば、様々な用途に対応できます。さらに多目的ホールを分割して会議室やカフェを広げ、2階に増床すればオフィスとして使うこともできます。また、維持管理の負担を軽減するため、省エネルギーかつメンテナンスサイクルの長い素材や納まりとすることで、ランニングコストの縮減します。

### ②イベント・お祭りの時

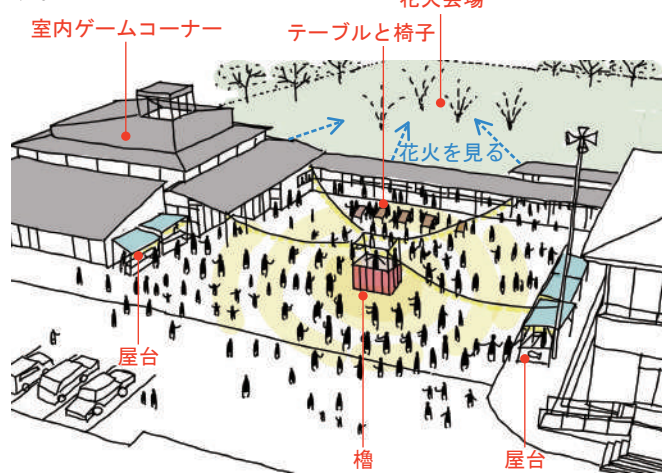
使い方の例【地産マルシェ】

- ・中山間地域外の人も訪れる地域特産品のイベント。
- ・屋内イベントでは天候に左右されずに開催できます。
- ・会議室は、分割して会場の一部にもでき、主催者のバックヤードとして使用することもできます。
- ・広場は駐車場をグラウンドに移すと、キッチンカーや出店を集める場所となります。また、屋外の洗い場があるため、衛生的に運営できます。



使い方の例【お祭り】

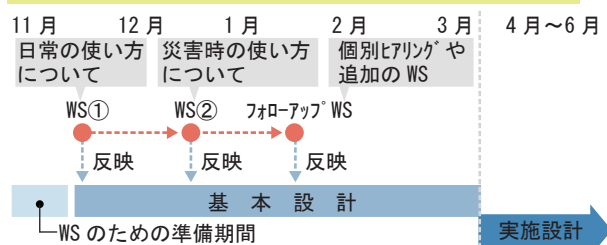
- ・お祭りの時には、拠点施設を屋内休憩所や飲食スペース、体育館をバックヤードとして、広場を中心に屋外や飲食スペースを設置します。
- ・施設と渡り廊下に囲まれた広場は、お祭りによる一体感のある中心となります。
- ・グラウンドで花火を打ち上げるときには、展望テラスだけでなく、大階段や廊下のベンチも観覧席になります。



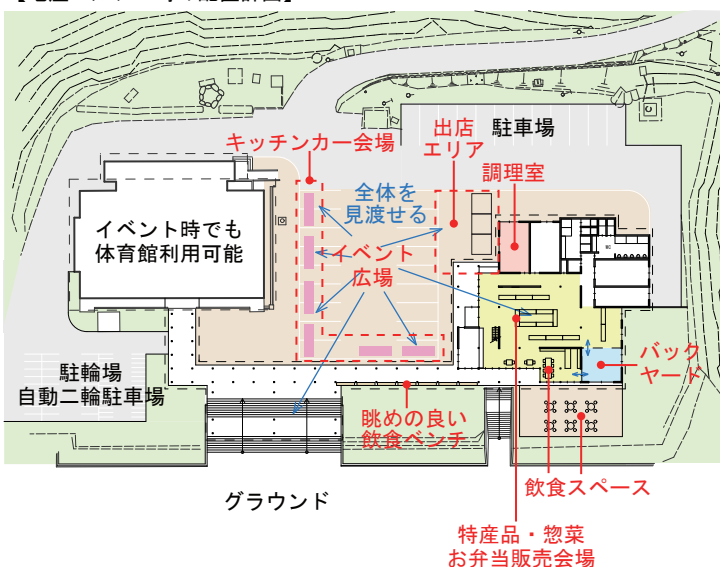
ワークショップ・設計協議等

### WS 運営のスケジュール

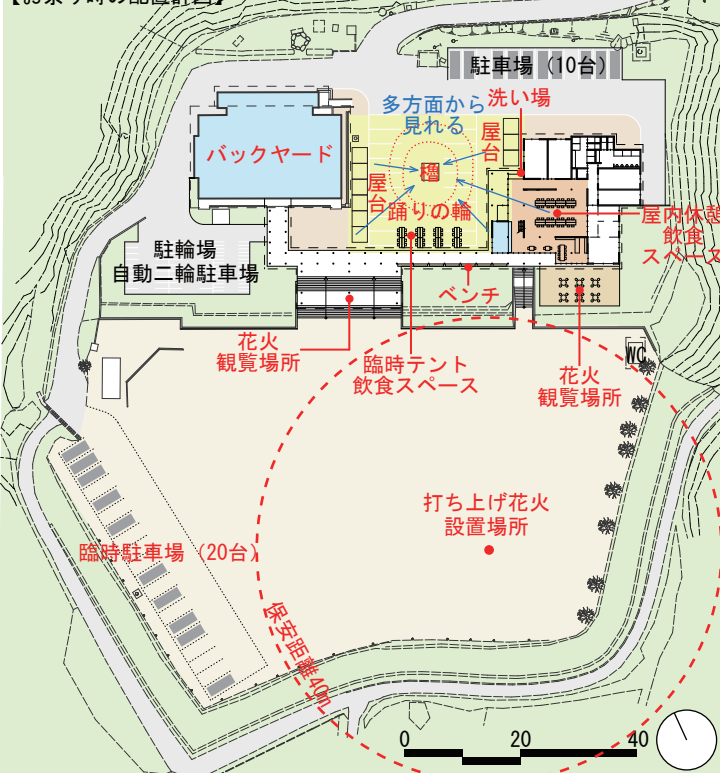
日常と災害時の使い方と意識をワークショップにより浮かび上がらせ、住民の方々と共に作り上げるプロセスを大事にします。図面や模型を囲みながら、意見のフィードバックを確認することで、使う人たちが自分たちの施設であることの意識を醸成し、大切に使い続けられる計画を目指します。



【地産マルシェ時の配置計画】



【お祭り時の配置計画】



ユニバーサルデザインに配慮した計画

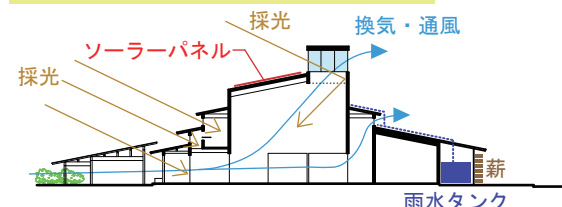
### 快適でやさしい居場所づくり

- ・段差のないバリアフリーを基本として、視認性の高い空間とわかりやすい動線計画、そして明快なサイン計画を行います。また、廊下には手摺を設けて高齢者や身体の不自由な方にも配慮します。
- ・授乳室を設け、トイレブースにオムツ交換台を設定し、子育て世代にやさしい環境をつくります。災害時に会議スペースの一部は、乳幼児のいる世帯を避難させる非常用電源による空調可能エリアになります。

環境配慮・省エネ・コストを考慮した計画

### 環境配慮・省エネのアイディア

屋根にソーラーパネルを設置して電気エネルギーの削減と非常時の電源とします。また、災害時における熱源のため間伐材による薪をストックします。雨水はタンクに貯めてトイレ洗浄に利用します。多目的スペースでは、煙突効果による換気・通風を確保します。断熱性能を高め空調負荷を低減します。



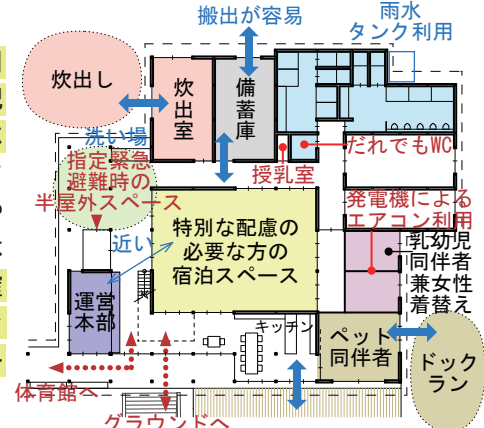
### ③災害時

指定緊急避難場所として

広場を中心に受け入れ体制を素早く整えられるような動線計画としています。ポーチや渡り廊下は半屋外避難、トリアージュスペースとして利用できます。非常用電源とソーラーパネルを連携して、最低限の空調エリアや照明、通信設備を確保します。

指定避難場所として

乳幼児やペットの同伴者などの特別な配慮が必要な人に対応した場所を用意します。また、駐車場や仮設住宅エリア、体育館との動線を明確にして、物資や炊き出しの供給がスムーズに行えます。



【災害時の配置計画】



### コスト試算

| 面積表          |                      |
|--------------|----------------------|
| 1F 多目的ホール    | 90 m <sup>2</sup>    |
| 会議スペース       | 55 m <sup>2</sup>    |
| 調理室（炊出し）     | 28 m <sup>2</sup>    |
| 備蓄庫          | 28 m <sup>2</sup>    |
| 事務スペース       | 18 m <sup>2</sup>    |
| トイレ          | 45 m <sup>2</sup>    |
| 更衣室・シャワー室    | 10 m <sup>2</sup>    |
| 授乳室          | 1.65 m <sup>2</sup>  |
| 収納スペース       | 20 m <sup>2</sup>    |
| 機械室          | 26 m <sup>2</sup>    |
| カフェスペース・キッチン | 40 m <sup>2</sup>    |
| 2F ライブラリ     | 6.5 m <sup>2</sup>   |
| 廊下・共有スペース・階段 | 71.85 m <sup>2</sup> |

屋内床面積合計 440 m<sup>2</sup> (133 坪)  
屋外床面積合計 220 m<sup>2</sup> (66.5 坪)

費用 20,000 万（屋内 / 坪 150 万）+ 4,500 万  
（屋外 / 坪 70 万）+ 5,000 万（外構）+  
2,000 万（予備費）= 31,500 万（税別）

概算工事費： 346.5 百万円